



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社 有沢製作所 上場取引所 東
コード番号 5208 URL <https://www.arisawa.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 有沢 悠太
問合せ先責任者 （役職名） 取締役専務執行役員 （氏名） 増田 竹史 TEL 025-524-7101
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	15,828	25.3	1,181	30.8	1,378	41.7	911	25.1
2026年3月期第1四半期	12,634	4.6	902	△15.6	972	△27.6	728	△25.0

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 1,522百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 17百万円（△98.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	27.80	—
2026年3月期第1四半期	21.92	21.91

（注）2027年3月期第1四半期の包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000％以上となるため「—」と記載しています。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	84,993	49,649	58.4	1,514.80
2026年3月期	81,039	50,688	62.5	1,546.49

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 49,649百万円 2026年3月期 50,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	44.00	—	78.00	122.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		55.00	—	55.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2027年3月期における1株当たり配当金については、中間配当金を49円から55円に、期末配当金を49円から55円に変更しております。詳細については、本日（2026年8月6日）公表しました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	32,900	24.0	3,100	26.3	3,300	53.2	2,200	40.8	67.12
通期	64,200	13.7	6,500	12.0	6,400	3.9	4,500	△9.9	137.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2026年8月6日）公表しました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) Arisawa Manufacturing America, Inc.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	33,603,924株	2026年3月期	33,603,924株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	827,768株	2026年3月期	827,640株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	32,776,215株	2026年3月期1Q	33,219,092株

(注) 期末自己株式数には、「従業員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式 (2027年3月期1Q 56,757株、2026年3月期 56,757株)が含まれております。

また、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2027年3月期1Q 56,757株、2026年3月期1Q 81,200株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料P2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に支えられ、緩やかな回復傾向で推移しました。一方、継続的な物価上昇による影響に加え、為替市場の動向や中東情勢による原材料・エネルギー価格の高騰など、先行きは依然として不透明な状態が続いております。

このような状況のもと当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、主力事業分野である電子材料において、スマートフォン、及び半導体（PC、AIサーバー向けなど）の需要が増加したことに加え、産業用構造材料においても航空機用ハニカムパネルの売上高が好調に推移したことなどから、売上高は158億28百万円（前年同期比25.3%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は11億81百万円（同30.8%増）、経常利益は13億78百万円（同41.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億11百万円（同25.1%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりです。

（電子材料）

フレキシブルプリント配線板用材料、及びプリント配線板用ガラスクロスの売上高が増加したこと等により、売上高は104億33百万円（前年同期比24.6%増）、セグメント利益は売上高が増加したことから、13億10百万円（同55.6%増）となりました。

（産業用構造材料）

航空機用ハニカムパネルの売上高が増加したこと等により、売上高は35億34百万円（同33.2%増）、セグメント利益は品種構成の変化に加え、一時的に販売管理費が増加したことから、86百万円（同76.2%減）となりました。

（電気絶縁材料）

インフラ関連向けの売上高が増加したこと等により、売上高は6億78百万円（同9.1%増）、セグメント利益は売上高が増加したことに加え、収益改善効果もあり、84百万円（同263.3%増）となりました。

（ディスプレイ材料）

3D関連材料の売上高が増加したこと等により、売上高は10億90百万円（同21.1%増）、セグメント利益は売上高が増加したことに加え、品種構成の変化により、2億86百万円（同110.9%増）となりました。

（その他）

売上高は90百万円（同6.5%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ39億54百万円増加し、849億93百万円となりました。これは主に、現金及び預金が19億32百万円、原材料及び貯蔵品が7億75百万円、有形固定資産が6億22百万円それぞれ増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ49億92百万円増加し、353億43百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が14億70百万円、長期借入金が35億97百万円それぞれ増加したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億38百万円減少し、496億49百万円となりました。これは主に、利益剰余金が16億49百万円減少し、その他有価証券評価差額金が4億19百万円、為替換算調整勘定が1億97百万円それぞれ増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期第2四半期（累計）連結業績予想、及び通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年8月6日）公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,240,998	17,173,482
受取手形、売掛金及び契約資産	21,906,654	22,217,736
商品及び製品	5,774,719	5,699,103
仕掛品	3,024,557	3,118,056
原材料及び貯蔵品	6,817,000	7,592,554
その他	1,254,123	1,178,838
貸倒引当金	△16,066	△24,769
流動資産合計	54,001,987	56,955,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,196,338	13,059,271
その他（純額）	10,445,049	11,204,503
有形固定資産合計	23,641,387	24,263,774
無形固定資産	306,936	288,423
投資その他の資産		
投資有価証券	1,929,988	2,540,877
退職給付に係る資産	—	21,571
その他	1,279,218	1,045,666
貸倒引当金	△120,358	△121,967
投資その他の資産合計	3,088,848	3,486,149
固定資産合計	27,037,172	28,038,347
資産合計	81,039,159	84,993,349

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,748,032	10,218,293
短期借入金	10,988,823	10,765,017
1年内返済予定の長期借入金	970,814	1,324,825
未払法人税等	997,106	472,082
製品保証引当金	31,854	33,157
賞与引当金	1,140,538	1,584,727
役員賞与引当金	9,131	1,149
株式給付引当金	29,599	39,466
その他	3,729,538	3,649,533
流動負債合計	26,645,439	28,088,252
固定負債		
長期借入金	2,999,727	6,596,904
退職給付に係る負債	76,614	68,016
資産除去債務	103,639	104,517
その他	525,667	486,305
固定負債合計	3,705,649	7,255,743
負債合計	30,351,089	35,343,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,881,920	7,881,920
資本剰余金	3,255,725	3,255,725
利益剰余金	35,225,663	33,575,907
自己株式	△1,176,816	△1,177,109
株主資本合計	45,186,492	43,536,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725,018	1,144,140
繰延ヘッジ損益	△1,863	△3,625
為替換算調整勘定	4,707,162	4,904,914
退職給付に係る調整累計額	71,260	67,478
その他の包括利益累計額合計	5,501,578	6,112,908
純資産合計	50,688,070	49,649,352
負債純資産合計	81,039,159	84,993,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	12,634,973	15,828,256
売上原価	10,011,870	12,178,657
売上総利益	2,623,102	3,649,599
販売費及び一般管理費	1,720,135	2,468,292
営業利益	902,967	1,181,306
営業外収益		
受取利息	9,231	9,714
受取配当金	15,025	14,998
為替差益	35,073	173,361
その他	72,337	84,318
営業外収益合計	131,667	282,392
営業外費用		
支払利息	44,363	72,762
その他	17,452	12,576
営業外費用合計	61,815	85,338
経常利益	972,818	1,378,360
特別利益		
固定資産売却益	449	199
投資有価証券売却益	70,014	—
特別利益合計	70,464	199
特別損失		
固定資産除却損	1,251	1,551
特別損失合計	1,251	1,551
税金等調整前四半期純利益	1,042,032	1,377,008
法人税等	313,845	465,787
四半期純利益	728,186	911,221
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	728,186	911,221

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	728,186	911,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,192	419,122
繰延ヘッジ損益	△57	△1,761
為替換算調整勘定	△674,291	197,752
退職給付に係る調整額	△11,770	△3,782
その他の包括利益合計	△710,311	611,330
四半期包括利益	17,874	1,522,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,874	1,522,551
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

当第1四半期連結会計期間において、Arisawa Manufacturing America, Inc.の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子材料	産業用構造材料	電気絶縁材料	ディスプレイ材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,373,573	2,654,056	621,982	900,627	12,550,239	84,733	12,634,973
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	281,637	281,637
計	8,373,573	2,654,056	621,982	900,627	12,550,239	366,371	12,916,611
セグメント利益	842,352	363,648	23,321	135,760	1,365,083	60,480	1,425,564

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関連商品販売、物流関連及びその他事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,365,083
「その他」の区分の利益	60,480
セグメント間取引消去	814
全社費用(注)	△456,148
棚卸資産の調整額	△67,263
四半期連結損益計算書の営業利益	902,967

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子材料	産業用構造材料	電気絶縁材料	ディスプレイ材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,433,917	3,534,951	678,526	1,090,599	15,737,994	90,261	15,828,256
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	346,400	346,400
計	10,433,917	3,534,951	678,526	1,090,599	15,737,994	436,662	16,174,657
セグメント利益	1,310,365	86,728	84,732	286,267	1,768,093	77,977	1,846,070

（注） 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関連商品販売、物流関連及びその他事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,768,093
「その他」の区分の利益	77,977
セグメント間取引消去	2,304
全社費用（注）	△569,024
棚卸資産の調整額	△98,044
四半期連結損益計算書の営業利益	1,181,306

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	531,999千円	649,462千円

(重要な後発事象の注記)

(重要な設備投資)

当社は、2026年8月6日開催の取締役会において、岐阜県に建設する新工場に追加の設備投資を実施することを決議いたしました。

1. 設備投資の目的

当社は、2026年4月30日開催の取締役会において、主力事業である電子材料分野における事業拡大および生産拠点の分散化を通じたBCP（事業継続計画）の強化を目的として、岐阜県に新工場を建設する計画を決議しました。

新工場の生産能力については、需要動向を見据えながら適宜増強を図る方針でありましたが、近年の生成AIの普及と進化を背景に、市場ではAI関連投資が拡大しています。これに伴い、当社のAI関連用途である半導体・パッケージ関連製品の需要が高いレベルで継続して増加するものと見込まれております。こうした需要動向に対応するため、これから建設する新工場において、当初計画から生産能力を引き上げる追加の設備投資を行うことを決定いたしました。

生産能力増強により、拡大する需要に対して安定的に製品を供給できる体制を構築してまいります。

2. 設備投資の概要

- | | |
|----------|--|
| (1) 所在地 | 岐阜県可児市 可児御嵩インターチェンジ工業団地 |
| (2) 竣工時期 | 2028年9月（予定） |
| (3) 稼働時期 | 2028年度から順次稼働（予定） |
| (4) 投資金額 | 約140億円（予定）
（土地、建物、機械設備等を含む。2026年4月30日開示から約40億円の増額。） |
| (5) 資金計画 | 自己資金及び借入金 |

3. 当該設備投資が営業・生産活動に及ぼす重要な影響

本設備投資における当期の連結業績に与える影響は軽微であります。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。